

# 本多 俊 昭

[真誠会]



- ① 農業振興施策について
- ② 屋内市民プールについて

## 問

- ① ①カメムシ被害の抑制策として薬剤支援を検討してはどうか。被害に遭い価格が下がり生産意欲をなくさないためにも必要ではないか。
- ② 農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地が増えると予想されるが、本市の農政推進の基本的な方針について。
- ② ①巡回バスを運行する計画があるのか。立地場所から考え、利用者には必要ではないか。
- ② 市民に親しみやすいネーミングの募集を検討しているのか。

## 答

- ① ①薬剤支援については県内の動向を見ながら今後の検討課題とする。
- ② 各種支援事業を有効に活用し、後継者育成を図る。生産・加工が一体となった6次化の戦略を図る。経営所得安定対策等を最大限活用し、農業所得の確保を目指す。
- ② ①市民の利用しやすい環境づくりや、利便性の向上に向けて管理運営方針を検討していく。
- ② 市民に親しみやすい施設とするには愛称募集なども有効な手段であると考え、今後検討する。

# 熊 田 義 春

[市政会]



- ① 復興支援交付金について
- ② ナラシ対策（米・畑作物の収入影響緩和対策）について

## 問

- ① ①復興支援交付金のこれまでの合計金額は。
- ② 今後の事業計画は。
- ② ①加入者数はどのくらいか。
- ② 事業の最終目的に対する本市の対応と市長の考えは。

## 答

- ① ①平成23年度6億7,079万9千円、24年度はブランド・イメージ回復支援分として7,142万5千円。合計7億4,222万4千円が交付され、基金を造成し事業執行中。
- ② 農業の振興、商工業の振興、観光振興等について進めていく。
- ② ①平成27年度は申請受付中である。26年度は営農団体を含む86名、円滑化対策が787名である。
- ② 認定農業者等の加入促進と増加に向けた取組み支援を行いながら、事業の推進を図っていきたい。

# 平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- ① 特別支援学級・特別支援学校について
- ② 安達ヶ原ふるさと村公園について

## 問

- ① 特別支援学級は条件がなく、進級する子どもの状況が多岐にわたり、学校での対応は困難になっていると聞けるが、市として一人一人の支援についてどのような方策をもっているか。また、特別支援学校設置の具体的な取り組みは。
- ② 外遊びや水遊びができ、暑い夏の日のための日除けの設置や訪れた方がゆったりできるスペースなど、子どもからお年寄りまでの方が、自然に親しめる公園に整備できないか。

## 答

- ① 個別の教育支援・指導計画を作成し指導の充実に取り組むとともに、県教育委員会の巡回相談や特別支援学校機能強化事業を活用し、専門家の派遣を要請し支援の充実に取り組んでいる。設置の要望は安達地方3市村で県に要望書の提出を予定。
- ② 安達ヶ原ふるさと村公園と安達ヶ原公園とを一体とした1つの公園とする基本構想を今年度に策定する。利用者の意見を取り入れ、子どもだけでなく様々な世代が利用できる公園を目指し策定したい。

## 菅野 寿雄

[市政会]



- ① 8.5豪雨災害からの被害復旧状況について
- ② 東京電力原発事故被害からの復旧対策について

### 問

- ① ①被災箇所の復旧工事(市発注分)は全て発注されたのか。
- ②小浜川河川改修について、現時点での進捗状況は県から示されているのか。
- ③移川堆積土砂の除去を県に要望しているか。またその結果は。
- ② ①有害獣(イノシシ)の焼却施設を設置し、実施隊の負担を軽減すべきではないか。
- ②シイタケ原木放射能測定装置の設置を県に要望すべきではないか。

### 答

- ① ①農林業施設47件中45件は発注済みであり、土木施設92件は全て発注となった。
- ②県は、落橋した下川西橋付近の改修を先行して進めているところである。
- ③平成26年度に引き続き今年度も強く要望していく。
- ② ①現状では埋設処理が大部分であり課題として認識しているが、慎重な対応が必要と考えている。
- ②装置に関する情報を収集し、市への設置要望を行う。

## 佐藤 源市

[あぶくま会]



- ① 安達東部広域農道整備の見通しについて
- ② 二本松市長期総合計画策定について

### 問

- ① ①東和地域における事業の取り組み状況と今後の進め方について。
- ②県への要請と今後の整備計画の見直しについて。



急がれる広域農道整備(羽山地域)

- ② ①地域の均衡ある発展について。
- ②重点施策の具体的構想について。

### 答

- ① ①平成21年度の国の事業仕分けによる農道整備事業廃止方針で事業計画が停滞。その後県と協議し、代替ルート案を検討、提案した。
- ②ルートの検討、既存道路の拡幅等について県と協議を進めている。
- ② ①異なる地域条件や特性課題を意識し、地域資源の掘り起こし、地域拠点の機能拡充・多様化など地域が求める施策の推進を図る。
- ②若者の定住促進や子育て支援、地域振興の拠点整備、生涯スポーツと健康づくり等に重点をおく。

## 菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 夏無沼の仮設焼却場問題について
- ② 農業問題について

### 問

- ① ①4回の住民説明会を実施したが、市長はどう受け止めたか。
- ②候補地選定に際し「水・電気・アクセス・敷地」の4要件のほかに、一番基本となる「住民合意」を要件に入れるべきと思うが。
- ② ①昨年の米価暴落は農家の努力の限界を超え、厳しい環境にある。米価の回復をあらゆる機会を捉え国等に働きかけを。
- ②TPP交渉では国会決議に反し、重要5品目の大幅譲歩が明らかだ。国に交渉撤退の働きかけをすべき。

### 答

- ① ①焼却場候補地は市全域、安達管内全域を対象に民有地を含め検討し、改めて選定を行う。
- ②当初から地元皆様のご理解が重要であると認識しており、今後もこの考えで進めていく。
- ② ①昨年の米価では、再生産の必要経費が確保できないと認識しており、地域再生の主体である農業の衰退が懸念される。関係機関・生産団体と連携し働きかけていく。
- ②関係機関と連携し、引き続き働きかけていく。

## 平塚 與志一

[無所属]



- ① 除染（減容化施設）について
- ② 市民との協働による地域づくり支援事業及び地域間格差について

### 問

- ① 夏無沼に計画されている減容化焼却場施設について、5月末に東和地域において説明会が開催されたが、取りやめたということか。
- ② 市民との協働による地域づくり支援事業に二本松、安達、岩代、東和の各地域に1,000万円ずつ配分しているが、公平に配分するには、地域割と人口割をもって金額を決めるのが正しいのではないか。

### 答

- ① やめたと言うのは無責任な表現である。できないので新しい候補地を探す決断をしたところである。各説明会場にて明確に申し上げてきたところである。
- ② 地域に必要な取り組みを、地域の皆様が自主的に企画提案し、地域の皆様が自らその用途を決定するものであるもので、地域づくりに大きく寄与しているものと考えており、不公平とは考えていない。

## 斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ① 安達駅西開発基本計画策定について
- ② 安達老人福祉センターの備品購入について

### 問

- ① ①安達駅西開発基本構想で示された事業は基本計画策定にどう反映されるのか。
- ② 基本計画はいつまでに策定する見込みか。
- ② 故障しているマッサージ機の購入について

### 答

- ① ①平成24年2月に策定された基本構想当時に比べ、民間開発や住宅建設等によって地域状況が変化していることから、整備方法や財政状況を勘案して個別検討する。
- ② 平成28年度安達駅東地区事業完了次第、西地区の事業に着手する予定であり、28年度に基本計画を策定する。
- ② 市内他施設との均衡上、未だ配備になっていないが、要望は十分承知しており協議を進める。毎年1万人以上の利用がある。

### 議会を傍聴してみませんか

議場は市役所の6階にあります。議場の入口に置いてある「傍聴人受付簿」に住所、氏名、年齢を記入するだけで議会を傍聴することができます。団体で傍聴する場合には、代表者または責任者の方がその団体の名称及び傍聴人数を受付簿に記入してください。

ただし、会議運営上の秩序を守るため、いくつかの禁止規定が設けられていて、次のような方は傍聴できません。

- 危険物を持っている人
- 酒気を帯びている人
- はり紙・ビラ・のぼり等を持っている人
- 笛・ラッパ等音の出る器具を持っている人

また、携帯電話をお持ちの方は電源を切って入場していただきます。基本的には、静かに傍聴していただくことが規定されています。

議会開催の日程・時間については議会事務局に電話等でお問い合わせください。

※小学生以下の方は、事前に許可が必要となりますので、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

電話 0243-55-5143